

座標マッチング用 マニュアル

くまもと GMap Ver.2

平成 22 年 5 月
第 1.0 版

熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会

1. ファイル操作	3
1.1. 座標でマッチング	3
1.1.1. 点コンテンツの座標でマッチング.....	3
1.1.2. 線コンテンツの座標でマッチング.....	8
1.1.3. 面コンテンツの座標でマッチング.....	13

1. ファイル操作

くまもとGPMaP Ver. 2では、「座標でマッチング」機能が実装され、マッチング機能が強化されました。

1.1. 座標でマッチング

座標情報を記載したCSVファイルをインポートし、地図上にコンテンツを登録する機能で、点・線・面の図形情報の作成に対応しています。

対応している座標系の情報は下記の通りです。

- 測地系 : 世界測地系(日本測地成果 2000)
- : 世界測地系(WGS-84)
- : 日本測地系
- 座標系 : 経緯度座標系
 - 単位: 度(DEG) dddd.dddd 度分(DMM) dddmm.mmmm 度分秒(DMS) dddmmss.sss
- : 平面直角座標系
 - 単位: km m mm

1.1.1. 点コンテンツの座標でマッチング

点コンテンツの座標でマッチングを行うために、まず必要となる座標情報を記載したCSVファイルの作成方法を解説し、その後に座標でマッチング機能を使ったインポート方法を解説します。

点コンテンツ用CSVファイルの作成

点コンテンツ用CSVファイルには、座標情報が必須となります。

記述には、経度と緯度を意識して記述します。

例) 緯度 : 32度 46分 01.001秒 経度 : 130度 35分 20.02秒 の座標情報を度分秒で記述すると、1303520.020,324601.001 となります。(小数点以下を省略できません。またスペースなどは入れないようにします。)

エクセルなどのソフトを利用して記述する場合には、座標(経度、緯度)情報を記述する列を「文字列」と定義して記述してください。

例) エクセルでの入力方法

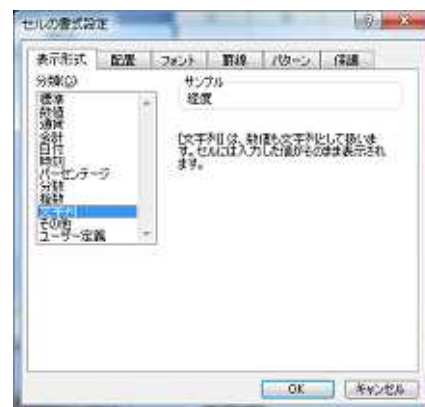
座標を記述する列を選択します。

マウス右クリックで、「セルの書式設定」を選択します。

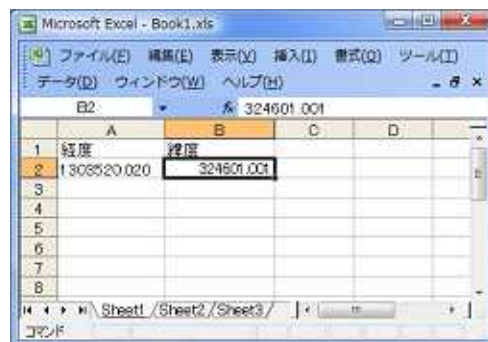


セルの書式設定画面が表示されます。

「表示形式」タブの「文字列」を選択し
「OK」ボタンで設定します。



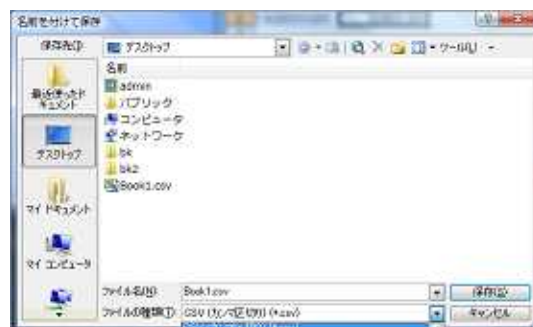
座標を入力してください。



「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択します。



ファイルの種類:「CSV(カンマ区切り)」を選択し
ファイル名を付けて「保存」します。



保存したファイルを、メモ帳などで開くと、
右図のように記述されています。

1行目はタイトル行です。

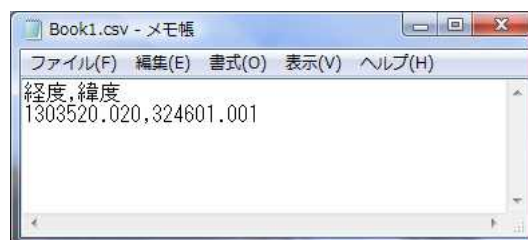
2行目は座標値が記述されています。

座標値に関しては、

小数点以下も省略されていません。

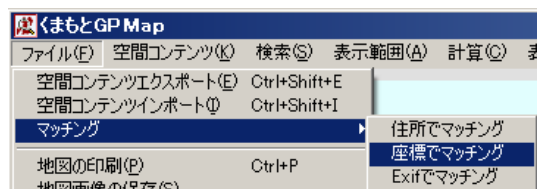
余分なスペースなどは入っていません。

半角数字で記述されています。



これで、CSV作成は完了です。必要に応じて、タイトル情報なども記述してください。

座標でマッチング機能を使ったインポート方法
作成したCSVファイルの取込方法を解説します。
くまもとGPMap Ver. 2を起動し、
「ファイル」「マッチング」「座標でマッチング」を
選択します。

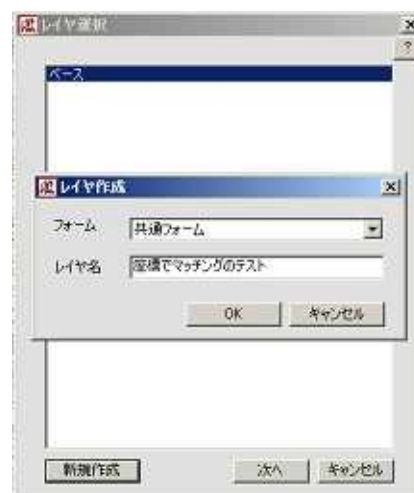


ファイル選択画面が表示されるので、
作成したCSVファイルを選択し、
「開く」ボタンをクリックします。



レイヤ選択画面が表示されます。

必要に応じ、「新規作成」ボタンをクリックし、
レイヤを作成してください。



レイヤを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



「座標マッチング詳細設定画面」が表示されます。

必要となる入力項目を記述します。

CSVのデータ開始行 : 2行目を選択

タイトル : タイトル名を入力

登録者 : 登録者名を入力

メールアドレス : メールアドレスを入力

登録日 : カレンダーを利用して日付入力

編集許可 : 許可、禁止より選択

代表点x座標(経度) : 経度の記述列を選択(1列目)

代表点y座標(緯度) : 緯度の記述列を選択(2列目)

形状 : 点 を選択

シンボル名を選択

(「点コンテンツ設定」ボタンをクリック)

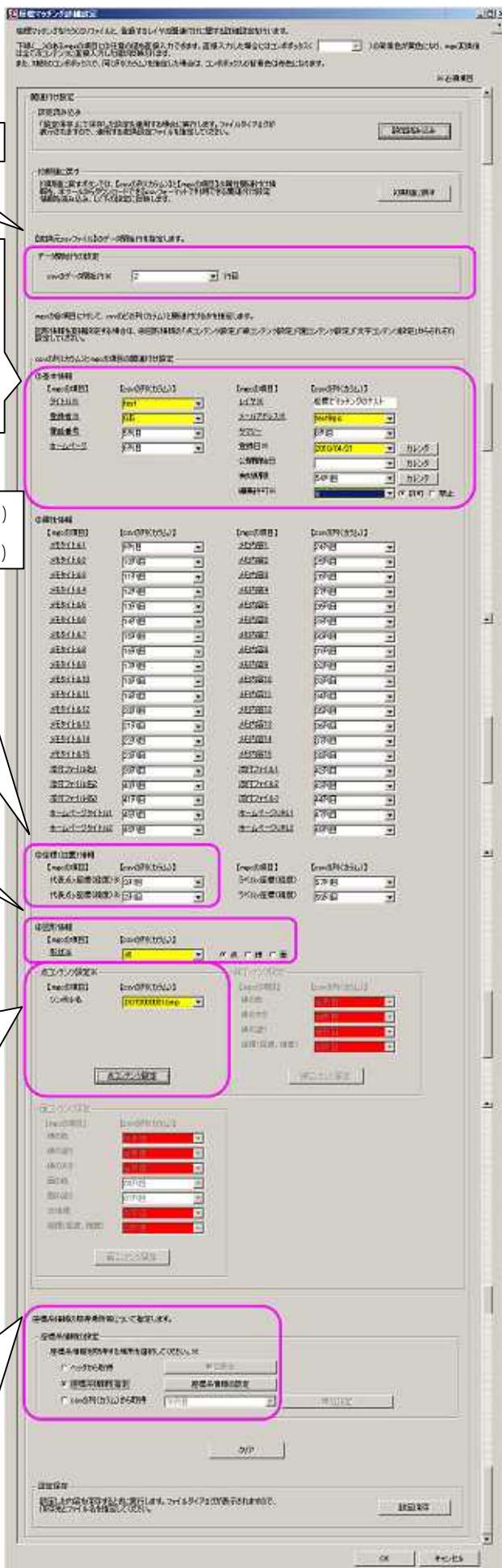
「座標系情報を指定」を選択

「座標系情報の設定」ボタンをクリックし

CSVファイルに記述した座標情報の

測地系、座標系、単位を選択

「OK」ボタンでインポートします。



インポートが完了すると、処理結果画面が表示されます。

「OK」ボタンで結果画面を抜けます。



地図上にアイコンが表示され
属性も登録されています。



これで、座標でマッチング(点)の処理は完了です。

今回の例は、「座標マッチング詳細設定画面」において、タイトルなどは、一括で登録しました。

コンテンツ一つ一つに、別のタイトルやメモ内容を付加したい場合は、CSVファイルに記述し、詳細設定画面で、記述した列を選択してください。

1.1.2. 線コンテンツの座標でマッチング

線コンテンツの座標でマッチングを行うために、必要となる座標情報を記載したCSVファイルの作成方法を解説し、その後に座標でマッチング機能を使ったインポート方法を解説します。

線コンテンツ用CSVファイルの作成

線コンテンツ用CSVファイルには、2点以上の座標情報が必須となります。

点コンテンツ用CSVファイルの作成ルールとは、異なるので注意が必要です。

例) A点 緯度 : 32度 46分 01.001秒 経度 : 130度 35分 20.02秒

B点 緯度 : 32度 46分 20.035秒 経度 : 130度 35分 50.122秒

の記述方法は、「”A点(経度), A点(緯度) B点(経度), B点(緯度)“」となり

“1303520.020,324601.001 1303550.122,324620.035” となります。

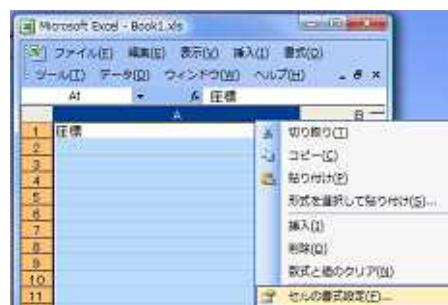
(小数点以下は省略できません。A点とB点の間は、半角スペースが必要です。)

エクセルなどのソフトを利用して記述する場合には、座標情報を記述する列を「文字列」と定義して記述してください。

例) エクセルでの入力方法

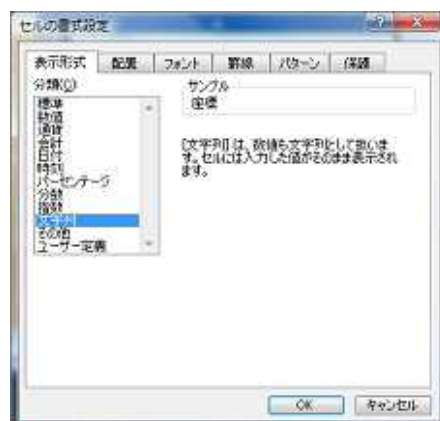
座標を記述する列を選択します。

マウス右クリックで、「セルの書式設定」を選択



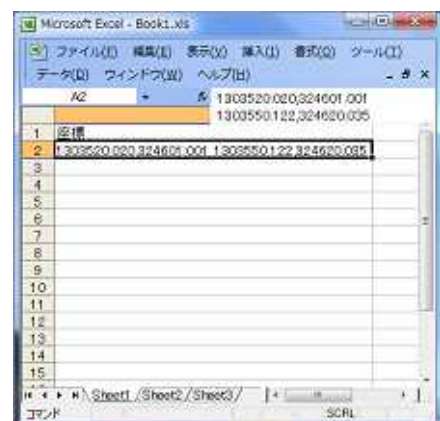
書式設定で、「表示形式」タブで「文字列」を選択

「OK」ボタンで抜けます。

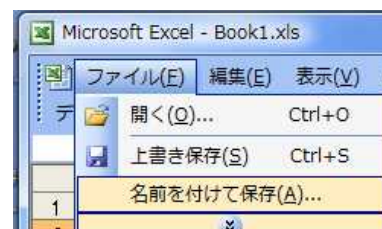


経度(A点),緯度(A点) 経度(B点),緯度(B点)

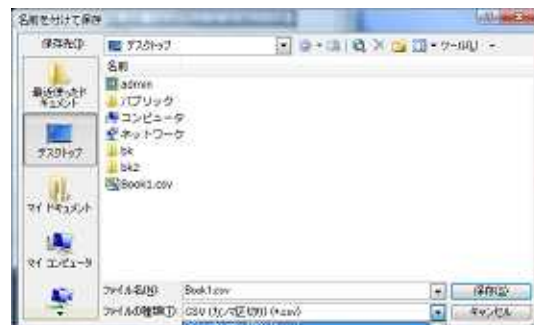
を入力します。



「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択



ファイルの種類:「CSV(カンマ区切り)」を選択し
ファイル名を付けて「保存」します。



保存したファイルを、メモ帳などで開くと、
右図のように記述されています。

1行目はタイトル行です。

2行目は座標値が記述されています。

座標値に関しては、

“(ダブルコーテーション)”が、先頭と末尾に記述されています。

小数点以下も省略されていません。

半角数字で記述されています。

A点とB点の間は、半角スペースです。

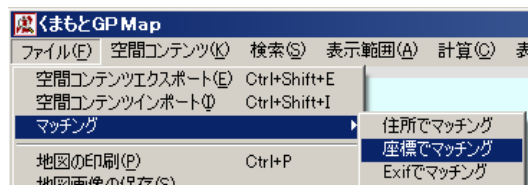


これで、CSV作成は完了です。必要に応じて、タイトル情報なども記述してください。

座標でマッチング機能を使ったインポート方法
作成したCSVファイルの取込方法を解説します。

くまもとGPMap Ver. 2を起動し

「ファイル」「マッチング」「座標でマッチング」を選択します。



ファイル選択画面が表示されるので、
作成したCSVファイルを選択し、
「開く」ボタンをクリックします。

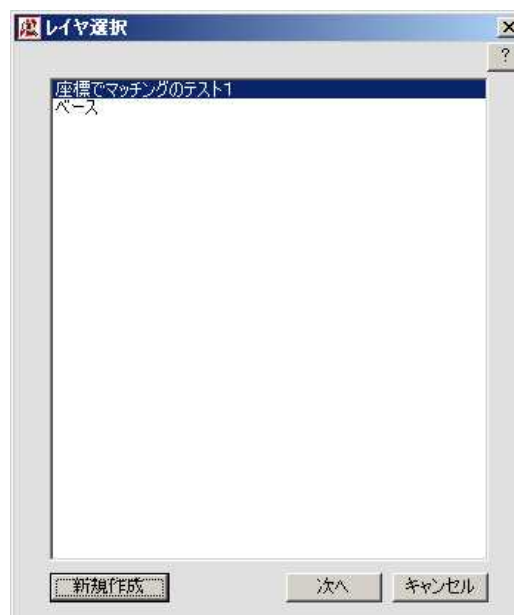


レイヤ選択画面が表示されます。

必要に応じ、「新規作成」ボタンをクリックし、
レイヤを作成してください。



レイヤを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



「座標マッチング詳細設定画面」が表示されます。

必要となる入力項目を記述します。

CSVのデータ開始行 : 2行目を選択

タイトル : タイトル名を入力

登録者 : 登録者名を入力

メールアドレス : メールアドレスを入力

登録日 : カレンダーを利用して日付入力

編集許可 : 許可、禁止より選択

代表点x座標(経度)、代表点y座標(緯度)は、値が補完されるので、ダミーの列を選択

形状 : 線 を選択

線コンテンツ設定ボタンで面の図形情報を選択
座標に座標の列を選択

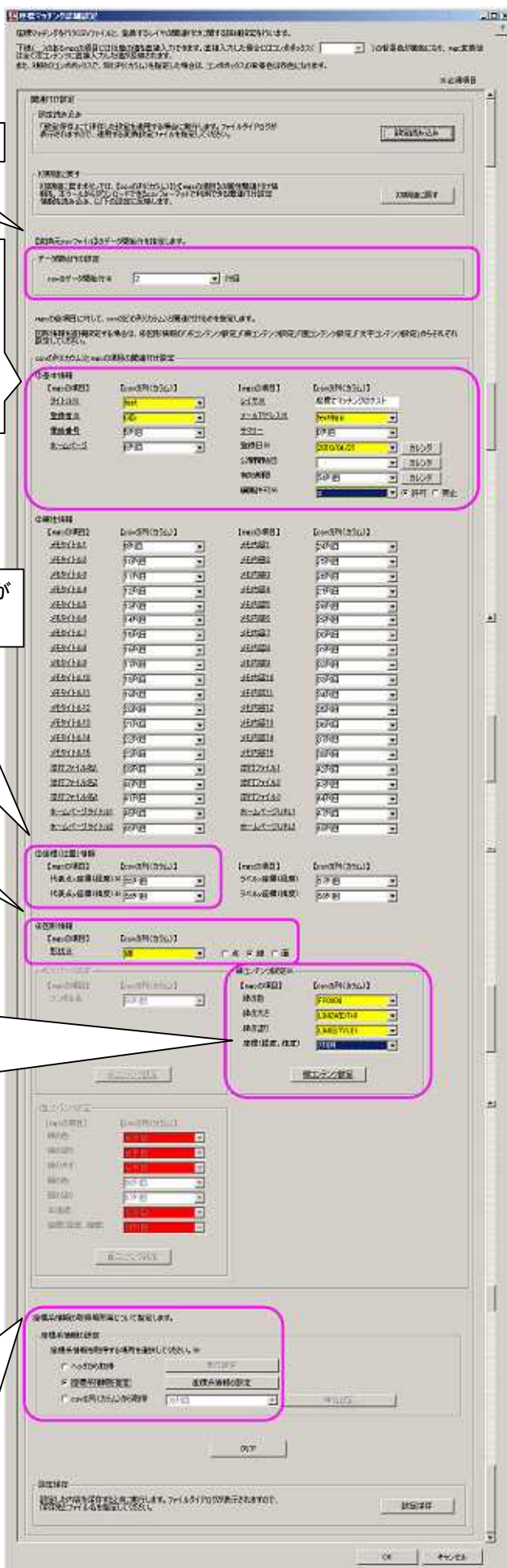
「座標系情報を指定」を選択

「座標系情報の設定」ボタンをクリックし

CSVファイルに記述した座標情報の

測地系、座標系、単位を選択

「OK」ボタンでインポートします。

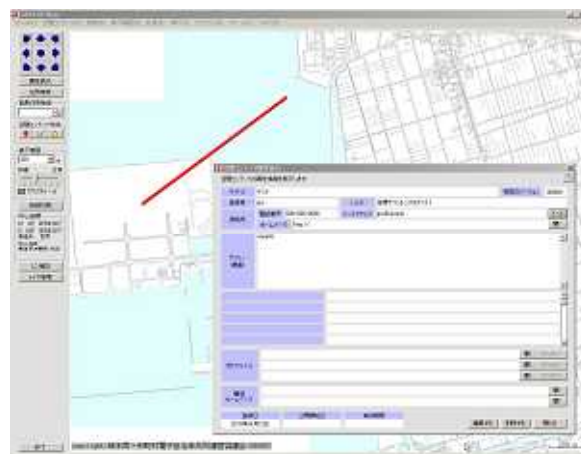


インポートが完了すると、処理結果画面が表示されます。

「OK」ボタンで結果画面を抜けます。



地図上にラインが表示され
属性も登録されています。



これで、座標でマッチング(線)の処理は完了です。

今回の例は、「座標マッチング詳細設定画面」において、タイトルなどは、一括で登録しました。

コンテンツ一つ一つに、別のタイトルやメモ内容を付加したい場合は、CSVファイルに記述し、詳細設定画面で、記述した列を選択してください。

1.1.3. 面コンテンツの座標でマッチング

面コンテンツの座標でマッチングを行うために、必要となる座標情報を記載したCSVファイルの作成方法を解説し、その後に座標でマッチング機能を使ったインポート方法を解説します。

面コンテンツ用CSVファイルの作成

面コンテンツ用CSVファイルには、3点以上の座標情報が必須となります。
作成方法は、線コンテンツ用CSVファイルと同様です。

例) A点 緯度 : 32度46分01.001秒 経度 : 130度35分20.02秒

B点 緯度 : 32度46分20.035秒 経度 : 130度35分50.122秒

C点 緯度 : 32度46分30.003秒 経度 : 130度35分30.045秒

の記述方法は「”A点(経度), A点(緯度) B点(経度), B点(緯度) C点(経度), C点(緯度)“」
となり

“1303520.020,324601.001 1303550.122,324620.035 1303530.045,324630.003” となります。

(小数点以下は省略できません。各ポイント間は、半角スペースが必要です。)

エクセルなどのソフトを利用して記述する場合には、座標情報を記述する列を「文字列」と定義して記述してください。

例) エクセルでの入力方法

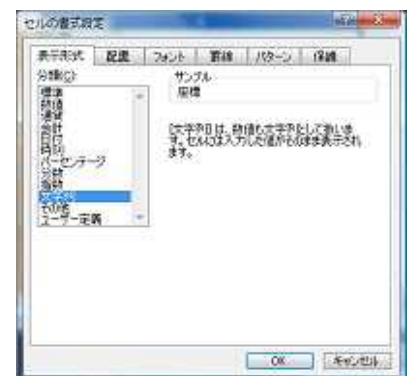
座標を記述する列を選択します。

マウス右クリックで、「セルの書式設定」を選択



書式設定で、「表示形式」タブで「文字列」を選択

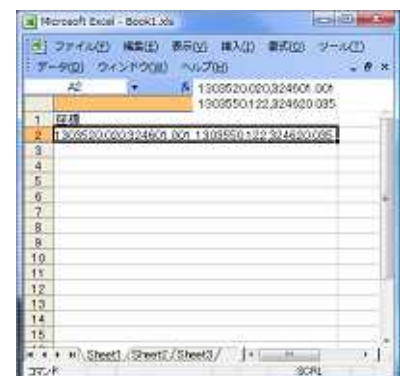
「OK」ボタンで抜けます。



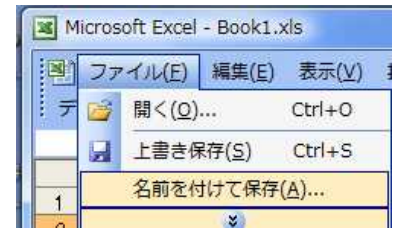
経度(A点),緯度(A点) 経度(B点),緯度(B点)

経度(C点),緯度(C点)

を入力します。



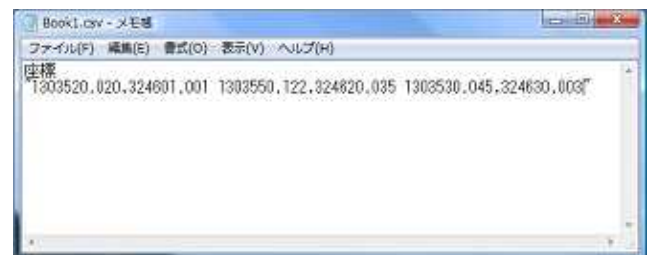
「ファイル」 「名前を付けて保存」を選択



ファイルの種類:「CSV(カンマ区切り)」を選択し
ファイル名を付けて「保存」します。



保存したファイルを、メモ帳などで開くと、
右図のように記述されています。



1行目はタイトル行です。

2行目は座標値が記述されています。

座標値に関しては、

“(ダブルコーテーション)”が、先頭と末尾に記述されています。

小数点以下も省略されていません。

半角数字で記述されています。

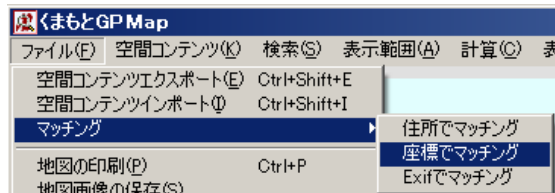
A点とB点の間は、半角スペースです。

これで、CSV作成は完了です。必要に応じて、タイトル情報なども記述してください。

座標でマッチング機能を使ったインポート方法
作成したCSVファイルの取込方法を解説します。

くまもとGPMap Ver.2を起動し

「ファイル」「マッチング」「座標でマッチング」を
選択します。

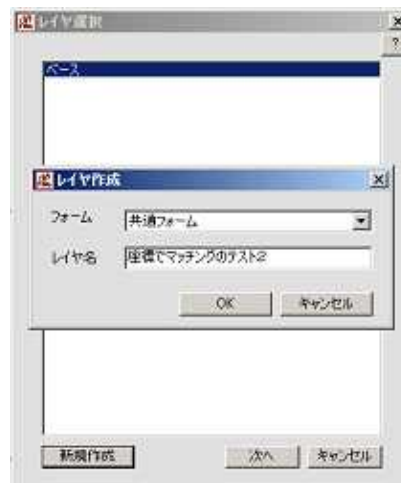


ファイル選択画面が表示されるので、
作成したCSVファイルを選択し、
「開く」ボタンをクリックします。

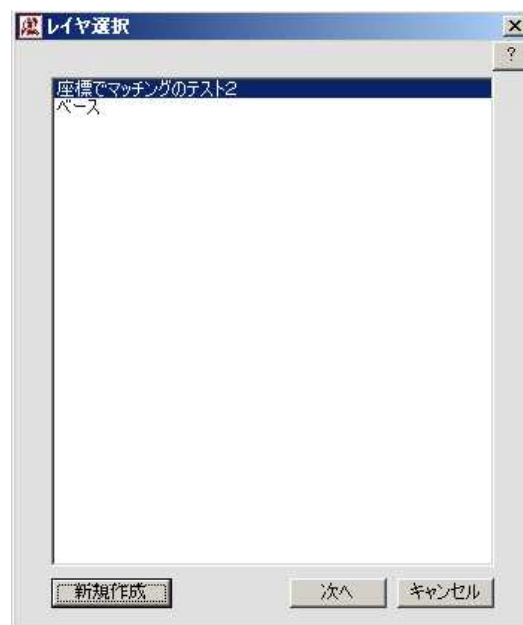


レイヤ選択画面が表示されます。

必要に応じ、「新規作成」ボタンをクリックし、
レイヤを作成してください。



レイヤを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



「座標マッチング詳細設定画面」が表示されます。

必要となる入力項目を記述します。

CSVのデータ開始行 : 2行目を選択

タイトル : タイトル名を入力

登録者 : 登録者名を入力

メールアドレス : メールアドレスを入力

登録日 : カレンダーを利用して日付入力

編集許可 : 許可、禁止より選択

代表点x座標(経度)、代表点y座標(緯度)は、値が補完されるので、ダミーのカラムを選択

形状 : 面 を選択

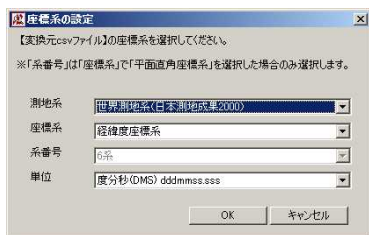
面コンテンツ設定ボタンで面の図形情報を選択
座標に座標の列を選択

「座標系情報を指定」を選択

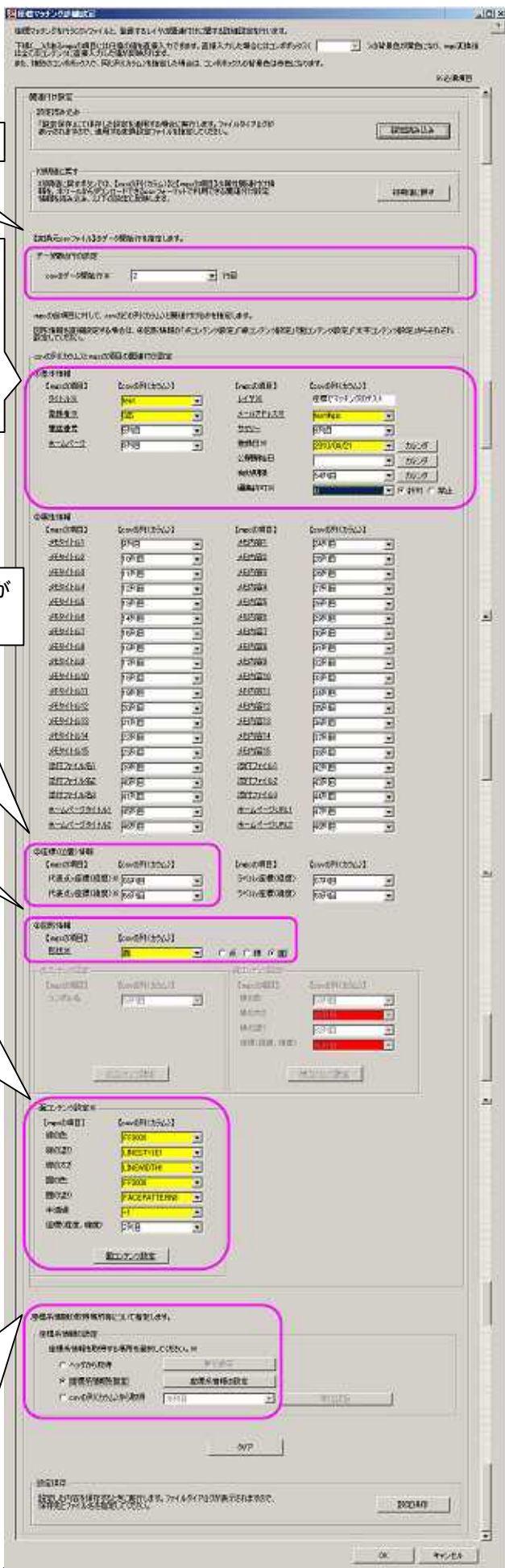
「座標系情報の設定」ボタンをクリックし

CSVファイルに記述した座標情報の

測地系、座標系、単位を選択



「OK」ボタンでインポートします。

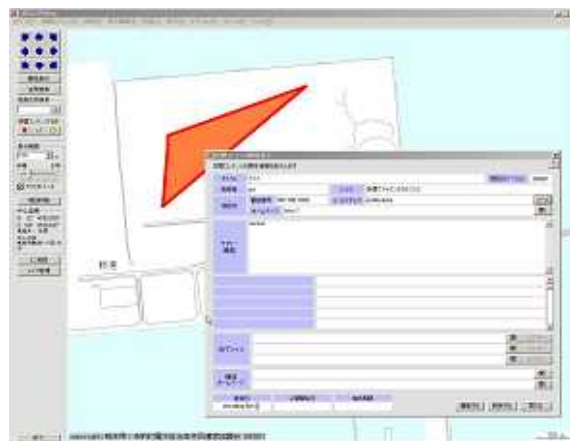


インポートが完了すると、処理結果画面が表示されます。

「OK」ボタンで結果画面を抜けます。



地図上に面が表示され
属性も登録されています。



これで、座標でマッチング(面)の処理は完了です。

今回の例は、「座標マッチング詳細設定画面」において、タイトルなどは、一括で登録しました。

コンテンツ一つ一つに、別のタイトルやメモ内容を付加したい場合は、CSVファイルに記述し、詳細設定画面で、記述した列を選択してください。